

今回も元気な活動を大追跡
田中やすのりおっかけ新聞

田中やすのり 区議会レポート

www.tanaka-yasunori.jp

2017年4月発行 Vol.30

議会！
トピック

2017
2/28
ON LIVE

一問一答形式の質疑 総括質問を行う！

板橋区役所/第一委員会室



一問一答形式の質疑であるため、質問と答弁を繰り返すことで
課題を深くあぶり出すことができる

熊本地震の現地訪問からの教訓を踏まえ、防災対策の 強化を求めることから始まり、様々なテーマを質疑。

熊本地震の教訓を基にした防災対策の強化の質疑では、衛生面での備蓄物資の充実や避難所での情報提供の工夫・再整備などについて質疑を行う。

障がい者施策では「就労支援・自立支援」にテーマを絞り、取り組みの前進を促す。区の高齢者施設については、今の時代に即した施設への転用について質しました。身近な地域の課題として雨風に負けないカバー付きの町会掲示板の設置や成増駅南口の喫煙所の移設などを取り上げました。



スライドで雨風でポスターが破れて
しまった様子を伝える

報告！質問を行った主な内容

平成28年度補正予算

- 町会掲示板を雨風に負けないカバー付きへ
- 鳩への餌やり禁止看板の設置と対策強化

生活保護行政

- チームで被保護者と対峙する仕組みの導入
- 国の就労支援の目標値の達成見込みについて

障がい者施策

- 継続就労支援A型を本庁舎や区民事務所に
- チャレンジ就労の5人枠を最大限に活用へ

高齢者施設

- 高齢者在宅サービスセンター、いこいの家を今の時代に合った高齢者施設へ衣替えを

要望が実る！

校庭の改修がついに終わる！

赤塚小学校校庭（平成29年1月）



毎年秋に農業まつりが行われる赤塚小学校。搬入のためにトラックが出入りするため、校庭の劣化が進み、いち早く改修を求める声が地域から上がっていました。この度改修がやっと叶いましたので報告します。



きれいに整備された校庭

区政報告会

第11回目となる区政報告会を実施

成増アクトホール(3/24)

多くの方にご出席いただき今年も無事に区政報告を行うことができました。空き家対策や地域課題を中心に報告を行いました。公式サイトに当日の報告内容を詳しく記した活動レポートVol.29があります。



一年間の成果を報告



本会議場は震災当日のまま手つかずの状態（益城町議会）



益城町・南阿蘇村 熊本地震からの 教訓と心構え

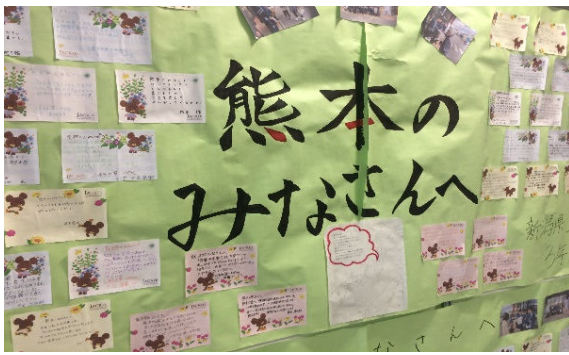
まだ私たちの記憶に新しい熊本地震。平成29年2月6日・7日にかけて、全壊や半壊などの建物被害が11000件を超え、町全体が壊滅的な被害を受けた「益城町」と阿蘇大橋の崩落や土砂崩れによる道路寸断が生じ、多くの方が孤立を強いられた「南阿蘇村」に赴きました。甚大な被害だった二つの自治体への直接の聞き取り、意見交換

は示唆に富んだものでした。

避難所で求められる 物資は「食料」→ 「衛生面」→「情報面」

着の身着のまま避難してきた被災者はまずは身の安全を確保し、暖かい毛布で身を包み、食料を口にすると少し安心を取り戻すとのこと。「まずは毛布と食料を」と実感が込められた言葉はとても説得力がありました。区の備蓄も食料は3日分の確保ができていますが、毛布など命の安心を実感できる備蓄の在り方については再度検証が必要です。そして現地で最も強調されていたのがトイレの

問題です。益城町からは「飲み食いの関係は国からの援助が早いのでどうかなるが、トイレ問題が一番の問題だった」と当時の苦労が語られました。益城町も南阿蘇村も、避難所に設置された仮設トイレの衛生面に非常に苦しみました。臭気が漂うため、消臭に人員を張りつけ日夜対応にあたりました。消臭や消毒の専門業者も巡回するなど、本当に対応に苦戦したそうです。トイレなどが不衛生なためノロウイルスの集団感染が発生し、自衛隊の炊き出し以外の食料の提供を受け取ることができなくなり、善意の方に対して辛い思いもした。仮設トイレは



日本全国からの応援メッセージ（熊本市役所）



ひび割れした庁舎



避難者の受入れについての説明（南阿蘇村）



屋根瓦が落ちブルーシートで雨風を凌ぐ



仮設住宅内に設けられた「笑」店街



崩落した阿蘇大橋、被害の甚大さを感じる

ただあればよいのでなく、水を流せるトイレを備えることが必要となります。マンホールトイレなどのように水に流せることを重視した備蓄を考えるべきです。都からは避難所への上下水道の耐震は実現できていると聞いていますが、本当に大丈夫なのか。最悪の事態を想定したトイレ対策の再確認を要請していきます。

次に震災から日が経つにつれて避難者は情報への渴望が高くなっていくそうです。そのための仕組みをどう準備しておくのかが強く求められます。スマホなどの端末を活用して、震災・避難情報へアクセスし、家族・知人との安否確認のやり取りを行うことが容易に想像できます。避難者の情報端末のバッテリーを充電できる防災備蓄の拡充へ向けての検討が必要です。充電ができるソーラースタンドなどの配置を求めています。

避難所運営での ストレス軽減は重要

益城町での避難所運営においては、職員が約2か月間の24時間を2交代制で土日もなく対応にあたりました。避難者は避難生活に疲れストレスも溜まり、職員にあたるようになります。職員も被災者であり、家族も被災をしているのに、職員は避難運営の職務を放棄することもできず、ストレスを過度に溜めていく。うつ病になる職員、体調を崩し入院する職員が多発してしまった。発災から3か月経ってからようやく職員に目が向き、職員のストレスチェックを行うことができたが、時すでに遅し。「もっと早く職員への対応が必要だった」と反省と悔しさが伝わります。議員はほとんどが地域に張りつき、避難所や空き地にいる方の現状や要望を聞き、町に

伝えていった。特に避難所はどこに行ってもストレスをぶつけられ、それは酷い言われようだったが、議員ができるだけ避難所に赴き、話を聞くことは重要と両町議長は語ります。町役場に伝える問題の吸い上げができるし、町民にとっても議員に話したことでスッキリしたり、安心するところもあったとのこと。当然ながら私も、議員の覚悟も問われています。板橋区ではそれぞれの避難所ごとに近隣職員を中心に職員配置を計画しています。職員だけに負荷をかけない避難所運営となるためにも、日頃からの顔の見える関係づくりも大切になります。

その他、震災直後の行方不明者の捜索に地元消防団が活躍したこと、最終的には追い出すことにしたマスコミへの対応、ボランティアを装う泥棒について、有益点や留意点を伺った。

やすのりの 議会活動を 報告！

List

総括質問にて一問一答形式で行った 質疑の項目リスト

熊本地震の被災地からの教訓をもとにした防災対策の強化を強く要望。高齢者や障がい者などの福祉施策の充実から雨風に負けない町会掲示板の設置など幅広いテーマから質疑を行った。

平成28年度補正予算に関連して 地域がよくなる、街をきれいに

- ①基金の積み立ては公共施設整備とリンクしているのか。
- ②町会掲示板をガラスまたはアクリル板カバー付きにできないか。雨風に負けない掲示板に。
- ③自治基本条例の制定に拘ることなく、住民参加の仕組みづくりを進めよ。
- ④成増駅南口にある喫煙所の移設について、28年度のお取組みはどうなっていたのか。
- ⑤成増駅北口では喫煙所を木で囲うなどしている。喫煙者・非喫煙者が共存できるように取組みを。
- ⑥今後は、南口の喫煙所は時期を決めて移転による撤去も視野に入れて検討を。
- ⑦鳩への餌やり禁止看板がなくなっている場所があるが、早期の設置を求める。



雨や風により掲示したポスターが破れてしまっている（板橋区内）

生活保護行政について

チーム対応による支援体制の充実

- ①社会福祉主事資格を持った職員の配置の現状と見解は。
- ②福祉職の採用を増やすなどの計画は。
- ③査察指導員やケースワーカーへの社会福祉主事取得に向けた支援の考えは。
- ④チームで被保護者と対峙するなど仕組みを変える考えは。
- ⑤高校に行きたいのに働けという指導は行われているのか。
- ⑥司法試験の勉強のために仕事をしないという人へも同じ対応なのか。
- ⑦国の就労支援の目標値の達成見込みは。



障がい者施策

就労支援と自立支援の拡充を

- ①第5期障がい者福祉計画は、ニーズ調査を行い必要なサービス・施設を算出すべき。
- ②自立を促すことに重点を置いた計画づくりを求める。
- ③現状のハートワークの目標値・実績は適切なのか。さらなる就労の実現を。
- ④区の取り組みの象徴として「A型」の施設を本庁舎もしくは区民事務所に設置を。
- ⑤チャレンジ就労は5人枠のところ実績が2～3名。5人の雇用を実現せよ。
- ⑥さらに積極的に優先調達を導入を進めよ。
- ⑦優先調達を広げるために福祉関係部署の取組みは。

高齢者施設

従来の発想を捨てて 今の時代に合った施設へ



- ①デイサービスである「高齢者在宅サービスセンター」の今後のあり方は。
- ②「いこいの家」は利用者が急減。今の時代に合った高齢者施設に衣替えをすべきでは。
- ③高齢者と障がい者が共存する「富山型」デイサービスへの見解は。

熊本地震の教訓

求められる衛生面での備蓄物資、被災者への情報提供の工夫

- ①避難所トイレ、仮設トイレの衛生面の対策は。
- ②避難所での集団感染を想定した対策は。
- ③避難者のスマートフォンの充電のための体制は。
- ④自立型ソーラースタンド導入による電源確保で避難所の情報面の充実を図れ。
- ⑤被災者向けの支援メニューの項目抽出や想定を今から準備すべき。
- ⑥ネットアクセスが集中したとき、サーバーは大丈夫なのか。対策は。
- ⑦ヤフージャパンとの防災協定を。
- ⑧車中避難について避難所校庭の一時開放などの想定を。
- ⑨女性専用スペース、乳幼児用ミルクの備蓄対策の進捗は。
- ⑩災害時の職員のメンタルケアと体制づくりを今から始めては。
- ⑪自然災害時に財政出動がすぐに行えるよう、特別会計の仕組みを。
- ⑫危機管理官として自衛隊OBの登用を。
- ⑬危機管理室長・課長の人事ローテーションの目安は。
- ⑭外部登用も含めて、人事を掌握し、指揮命令権としてのポストの重要性への考えは。

